

# マテバシイ（果実）

[木本] 《忌避》



葉は革質で厚い。



果実(堅果)は多数付く。



殻斗の表面は鱗片状。

## 区別のポイント

成葉と同じ。

堅果。長さ約2 cmの長楕円形。基部は直径約1 cmの椀状の殻斗に包まれる。殻斗の表面には鱗片が瓦状にびっしり並ぶ。

**形態** 常緑高木。高さ15m。

**分布** 本州・四国・九州・沖縄

**名前の由来** 九州地方の方言とする説と、葉がマテ貝の形に似ているからという説がある。

**葉** **〈全体〉**倒卵状楕円形で長さ5～20 cm、幅3～8 cm。

**〈付き方〉**互生。らせん状に付き枝先に集まる傾向。

**〈葉柄〉**1.5～2.5 cm。 **〈基部〉**くさび形。

**〈葉先〉**短く尖る。

**〈縁〉**全縁。

**備考** ただし萌芽はよく採食する。樹木衰弱、結果として森林更新の影響懸念。

**出典** 5